

平成17年5月27日

～舞台で活躍する演出家や俳優が、地域の読み聞かせボランティアを養成～

## 「心に響くドラマリーディング」講座開催！

6月11日（土）より、にしすがも創造舎（西巢鴨4-9-1 旧朝日中学校）において、舞台で活躍する演出家や俳優を講師に迎え、読み聞かせの技術などを学ぶことができる『心に響くドラマリーディング』講座が開催される。区内在住・在勤・在学の方が対象で、参加は無料。主催：としま文化創造プロジェクト実行委員会

日 時：6月11日～7月23日の毎週土曜日、7月24日 日曜日（全8回）

会 場：にしすがも創造舎（西巢鴨4-9-1 旧朝日中学校）

講 師：倉迫康史（演出家）他 舞台で活躍する俳優

募集人数：15名（応募多数の場合は抽選）

申 込 み：往復はがきに①「心に響くドラマリーディング」②郵便番号・住所 ③氏名（ふりがな）

④年齢 ⑤性別 ⑥電話番号 を記入の上、6月3日（金）必着で

〒170-8422 豊島区東池袋1-18-1 豊島区 文化デザイン課」へ

ドラマリーディングとは、戯曲の紹介や再発見・俳優の訓練などを目的に、戯曲を読む、簡単な演技をつける、演劇公演に近い形をとるなど、様々な形態で行われるもの。今回の講座は「演出家や俳優から学び、演劇公演のような感情豊かな読み聞かせ」を目指し、目的に合った作品選び、絵本・手紙・小説の読み方の違いなど、様々な内容が予定されているが、実際のカリキュラムは、受講者の技量や習得状況、受講者の希望等によって設定される。1名の講師に対して5～6名の受講者という少人数制により、地域の児童施設や高齢者施設などで、将来読み聞かせボランティアとして活躍できるような実践的な講座を目指している。この講座は、今年10月末から12月頃に再度開催する予定。

今回の講座は、文化庁の「文化芸術による創造のまち」支援事業を活用し（現在、内閣府へ地域再生計画として申請中）、地域の文化の担い手を育成する事業の一環。主催者であるとしま文化創造プロジェクト実行委員会は、豊島区・豊島区教育委員会・「アートネットワーク・ジャパン」「芸術家と子どもたち」の2つのNPO法人・財団法人としま未来文化財団の5団体により構成されている。豊島区では現在、文化と都市再生を政策の重点課題に、NPOや大学など様々な主体との協働により、文化を機軸としたまちづくりを進めており、平成16年8月には、「アートネットワーク・ジャパン」「芸術家と子どもたち」の2つのNPO法人が、統廃合で閉校になった朝日中学校跡施設を『にしすがも創造舎』として、演劇やダンスの稽古場・ワークショップ会場等として活用を始めている。区の文化芸術の「創造・発信・交流」拠点としての同施設の活用は、昨年12月に内閣府から地域再生計画の認定を受けており、戦前の無声映画スターの足跡を辿る映画上映会や、地域の子供達によるダンス公演など、地域住民との交流を通じた様々なアートプログラムが開催されている。今後としま文化創造プロジェクト実行委員会では、地域住民を対象に、プロの稽古場の体験を通じた本物の演劇プロセスを学ぶ講座や、子ども向けのアートワークショップの実践方法を学ぶ講座を開催するなど、地域の文化を担う人材を育成する取り組みを行っていく予定。

区では『にしすがも創造舎』などの「文化芸術創造のステージづくり」や、具体的なアートプログラムを提供する「創造的な地域づくり」、今回の『心に響くドラマリーディング』講座をはじめとする「文化の担い手・推進者等の人材育成」の3つの取り組みによって、文化芸術創造都市の形成「としまアートキャンパス」計画を推進し、文化を機軸としたまちづくりを進めていく。

詳細：アートネットワーク・ジャパン